

報告第1号

専決処分の報告について

令和6年（2024年）10月28日午前9時30分頃、城陽市富野北垣内地内の市道12号線において発生した市民環境部環境課職員運転の公用車による交通事故の損害賠償について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定に基づき、別紙のとおり専決処分したので、同条第2項の規定に基づき報告する。

令和7年2月25日報告

（2025年）

城陽市長 奥 田 敏 晴

専 決 処 分 書

交通事故の損害賠償について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定に基づき、次のとおり専決処分する。

令和6年12月26日専決
(2024年)

城陽市長 奥 田 敏 晴

交通事故に伴う損害賠償額の決定について

市は、国家賠償法（昭和22年法律第125号）第1条による交通事故の損害賠償額を次のとおり決定する。

- 1 損害賠償の額
金、374,845円（物件損害）
- 2 損害賠償の相手方
城陽市在住者

参照条文

地方自治法（抜粋）

〔議会の委任による専決処分〕

第180条 普通地方公共団体の議会の権限に属する軽易な事項で、その議決により特に指定したものは、普通地方公共団体の長において、これを専決処分にすることができる。

- ② 前項の規定により専決処分したときは、普通地方公共団体の長は、これを議会に報告しなければならない。

国家賠償法（抜粋）

〔公権力の行使に当る公務員の加害行為に基く損害賠償責任・その公務員に対する求償権〕

第1条 国又は公共団体の公権力の行使に当る公務員が、その職務を行うについて、故意又は過失によつて違法に他人に損害を加えたときは、国又は公共団体が、これを賠償する責に任ずる。

- ② 略

参考資料

1 事故の概要

令和6年（2024年）10月28日午前9時30分頃、城陽市富野北垣内地内の市道12号線において、市民環境部環境課職員が公用車を運転中、幅員の狭い道に進入しようとしたところ、前方から対向車が来ていたことからバックした際に、後方に追従し停止していた相手方車両に接触し、相手方の運転者が負傷するとともに、車両が損傷した。

2 事故後の対応

相手方の怪我の有無及び双方の車両の損傷状況を確認するとともに、城陽警察署に事故報告を行い、現場検証に立ち会った。

3 損害の程度

相手方 （人身損害） 頸椎捻挫により、現在通院中
（物件損害） 車両の前部バンパー等の損傷
当 方 なし

4 相手方との示談経過

物件損害について、公益社団法人全国市有物件災害共済会を通して示談に向けた協議を行い、令和6年（2024年）12月26日に示談を行った。

参考資料

付近見取図



拡大図

